

企画展講座 武蔵寺の歴史と文化遺産



市内の武蔵にある武蔵寺は、古代からの歴史を伝える寺院です。寺の起りは「虎麿伝説」として語り伝えられています。付近の「石見堂」からは8世紀前半の誕生釈迦仏(たんじょうしゃかぶつ)が出土しており、同寺の起源に迫ることができます。平安時代後期には経塚(きょうづか)が営まれ、『宇治拾遺物語』などの古典にも著された繁栄ぶりがうかがえます。

※企画展「武蔵寺と二日市温泉展」は7月1日(日)まで開催しています。

- 講師 山村 淳彦(市歴史博物館職員)
- 日時 6月2日(土)、13時30分～15時
- 場所 歴史博物館2階研修室
- 定員 先着70人
- 申込方法 電話または博物館受付にて
- 申込期間 5月18日(金)、9時～
- 申し込み・問い合わせ先 歴史博物館 ☎(922)1911

【写真】誕生釈迦仏

誕生した釈迦が七歩あるいて右手で天を指し、左手で地を指して「天上天下唯我独尊」と発する姿を表したものです。高さ11.5センチメートル。金銅製。市内武蔵石見堂から出土したと伝えられます。



至上の印象派展

解説講座

「ビュールレ・コレクション」

ビュールレ・コレクションは、一個人によって収集された絵画群です。しかし、作品も作家名も、どこかで見たことがある、聞いたことがある、と思われるような作品ばかりです。ドガ、ルノワール、ゴッホ、ゴーギャン、モネ、セザンヌ、ピカソ：本展覧会では、きつと「この絵はビュールレが持っていたのか!」と驚かれることとしよう。「印象派」の作品を中心に展示が構成され、中でも、ルノワールの《イレヌ・カーン・ダンヴェール嬢(可愛いイレヌ)》とセザンヌの《赤いチョッキの少年》、モネの《睡蓮の池、緑の反映》など傑作中の傑作が揃います。

本解説講座では、展示を担当した学芸員を講師として招き、見所などを詳しく解説します。

- 講師 臺信 祐爾さん(九州国立博物館 特任研究員)
- 日時 6月15日(金)、15時～16時30分
- 場所 歴史博物館2階研修室
- 定員 先着70人
- 申込方法 電話または博物館受付にて
- 申込期間 6月1日(金)、9時～
- 申し込み・問い合わせ先 歴史博物館 ☎(922)1911



赤いチョッキの少年
ノール・セザンヌ
©Foundation E.G.Bührle
Collection, Zurich (Switzerland)
Photo: SIK-ISEA, Zurich (J.-P.Kuhn)

※本講座は解説講座です。特別展「至上の印象派展～ビュールレ・コレクション～」は九州国立博物館にて5月19日(土)～7月16日(月・祝)の期間に開催されています。